

香港株式市場フラッシュ

香港上場の電気自動車メーカーを巡る動向

リサーチ部 笹木和弘

Tel: 03-3666-6980

E-mail: kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp



フィリップ証券株式会社

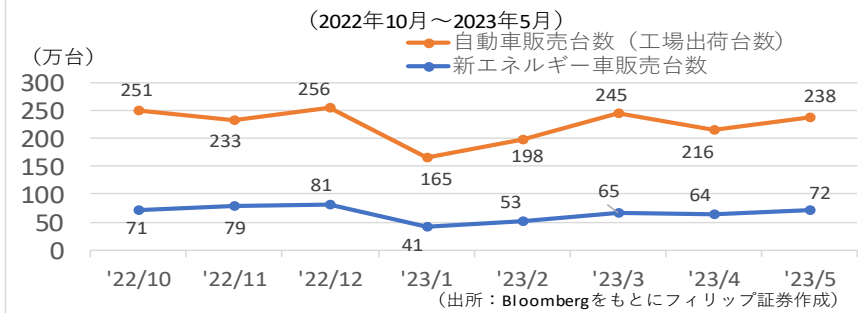
2023年7月5日号(7月5日作成)

“中国の自動車販売台数と新エネルギー車普及のカギ”

中国の自動車販売台数は、昨年11-12月に新型コロナウイルスまん延などの影響で伸び悩んでいたものの、電気自動車(EV)のほかに、プラグイン・ハイブリッド車(PHV)と燃料電池車(FCV)を含む「新エネルギー車(NEV)」は、12月に政府の補助金が終了する前の駆け込み需要で販売が伸びていた。その他の乗用車についても車両取得税優遇政策が昨年末で終了したことに加え、それらの優遇策の反動減と春節(旧正月)休暇から今年1-2月も自動車販売が低迷していたものの、新エネルギー車については5月にかけて持ち直しの兆しがみられる。

その背景として、EV向け電池材料「バッテリーメタル」の価格下落も挙げられる。リチウムは高騰していた2022年11月下旬の価格から4月中旬・下旬にかけて一時7割安まで下落。6/27時点でも22年11月比で約45%安い。6/27時点ではコバルトの国際価格(欧州スポット価格)も22年5月高値比62%安、ニッケルもLME(ロンドン金属取引所)3ヵ月物も22年3月高値比63%安だ。これらのバッテリーメタルの値下がりには製造コストの3分の1を占めるとされる電池の値下がりを通じてEVの普及を後押しする可能性があらう。

中国の自動車販売台数および新エネルギー車販売台数の月次推移



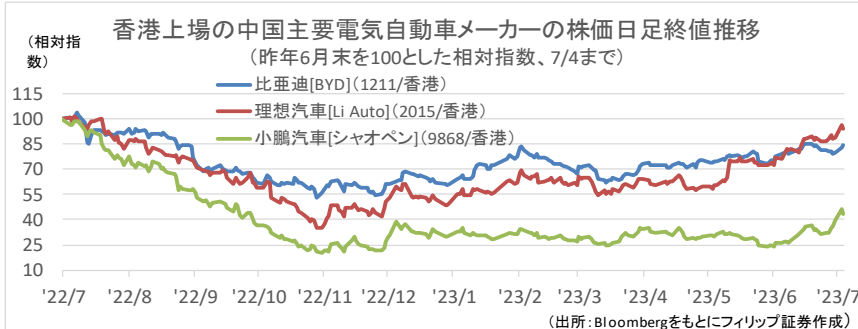
“香港上場の中国主要自動車メーカーの業績動向”

香港上場の中国の主要な電気自動車メーカーである比亞迪[BYD](1211/香港)、理想汽車[Li Auto](2015/香港)、小鵬汽車[シャオペン](9868/香港)の2023年1-3月期の業績を振り返ると以下の通りだ。

中国のEV最大手である比亞迪[BYD]は、主力の乗用車の販売台数が前年同期比92%増の54万7917台と堅調に推移したことを受けて、売上高が同80%増の1201億元、営業利益が同4.3倍の50.59億元。23年1-3月期の全体の粗利率率は17.9%と、22年通期よりも上昇。生産規模の拡大によるコスト削減が功を奏した。

理想汽車[Li Auto]は、販売台数が前年同期比66%増の5万3千台と堅調だったことを受けて、売上高が同2倍弱の183.30億元、営業利益が前年同期の▲4.10億元から4.10億元へ黒字転換。四半期ベースで初の営業黒字を達成。

小鵬汽車[シャオペン]は、販売台数が前年同期比47%減の1万8230台と減少したことから、売上高が同46%減の40.30億元、営業利益が前年同期の▲19.20億元から▲25.85億元へ、純利益が同▲17.00億元から▲23.70億元へ赤字幅拡大。部品調達がボトルネックとなり生産が思うように増やせなかったとみられる。



ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄(全94銘柄)における終値の昨年末末騰落率

前回基準日: 20230620 基準日: 20230704

順位	2022年末末騰落率・上位10銘柄	(%)	前回順位
1	理想汽車	87.6	1
2	中国石油天然気 [ベトロチャイナ]	66.1	2
3	小鵬汽車	42.0	19
4	網易 [ネットイース]	38.6	4
5	比亞迪 [BYD]	38.2	3
6	HSBCホールディングス	33.9	6
7	联想集团 [レボ・グループ]	33.4	8
8	中国移动 [チャイナモバイル]	29.8	7
9	中国石油化工 [シノベック]	28.7	12
10	百度 [バイドゥ]	26.3	9

順位	2022年末末騰落率・下位10銘柄	(%)	前回順位
94	Ming Yuan Cloud Group Holdin (明源雲)	-48.6	93
93	CG SERVICES (碧桂園服務)	-46.1	94
92	万国数拠服務 [GDSホールディングス]	-45.1	92
91	碧桂園控股 [カントリー・ガーデン・ホールディングス]	-38.6	91
90	JDDットコム	-34.5	88
89	李寧[リーニン]	-34.4	87
88	金蝶国際軟件集团 [キングディー・Int'lソフトウェア]	-34.3	89
87	薬明生物技術 [ウーシー・バイオロジクス・ケイマン]	-34.2	90
86	ピリビリ	-33.6	86
85	Meituan (美团)	-27.0	83

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【2023年6・7月中国主要経済指標】

- 6月28日(水)
 - ・1-5月工業利益: 前回▲20.6%、結果▲18.8%
- 6月30日(金)
 - ・6月製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回48.8、結果49.0
 - ・6月非製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回54.5、結果53.2
- 7月3日(月)
 - ・6月(財新)製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回50.9、結果50.5
- 7月5日(水)
 - ・6月(財新)サービス部門PMI: 前回57.1、結果53.9
- 7月7日(金)
 - ・6月外貨準備高: 前回3.17兆USD
- 7月9日(日)-15日(火)
 - ・6月資金調達総額: 前回1.56兆元
 - ・6月新規人民元建て融資: 前回1.36兆元
 - ・6月マネーサプライM2<前年同月比>: 前回+11.6%
- 7月10日(月)
 - ・6月消費者物価指数(CPI)<前年同月比>: 前回+0.2%
 - ・6月生産者物価指数(PPI)<前年同月比>: 前回▲4.6%
- 7月13日(木)
 - ・6月貿易収支: 前回+658.1億USD
 - ・6月輸出<前年同月比>: 前回▲7.5%
 - ・6月輸入<前年同月比>: 前回▲4.5%
- 7月15日(土)
 - ・6月新築住宅価格<前月比>: 前回+0.1%
- 7月17日(月)
 - ・4-6月GDP<前年同期比>: 前回+4.5%
 - ・6月小売売上高<前年同月比>: 前回+12.7%
 - ・6月鉱工業生産<前年同月比>: 前回+3.5%
 - ・1-6月固定資産投資<前年同月比>: 前回+4.0%
 - ・1-6月不動産投資<前年同月比>: 前回▲7.2%
 - ・6月調査失業率: 前回5.2%
- 7月20日(木)
 - ・1年ローン・プライムレート: 前回3.55%
 - ・5年ローン・プライムレート: 前回4.20%

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

- ・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。